

2022 年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：租税法特論	
担当教員名：大沼宏	
授業科目概要：この講義は、所得税の基本枠組みを、講義と演習を基に理解できるようになることを全体の目的とする。この講義の前半では課税所得をいかに計算し、その所得をもとに、どれだけ税金を支払うかを計算するための理論と計算技術を学ぶ。その一方で、今日の会計研究は仮説を設定した上で、当該仮説をデータから実証的に検証する実証会計研究が主流となっている。本講義の後半は、最先端の領域として、「租税負担削減行動」という企業行動を主に扱う。租税負担削減行動とは個人所得税と法人所得税の負担を削減しようという経済的な行動全体を指す。租税負担削減行動は節税行動、脱税行動、租税回避行為の三領域から構成される。いずれも一步間違えると法律に抵触する行動であり、近年こうした企業行動を行う企業状況の解明が進みつつある。その一方で、租税を支払うという当たり前の行為を改めて問い直すことで、なぜ我々は義務として課される納税を行うかを知ることが出来る。	
履修上の留意事項：計算については、トレーニングが重要となるため、講義中の指示に従い各自反復学習して欲しい。また、全国経理教育協会所得税法能力検定の積極的な受験により、計算能力等の向上に努めてもらいたい。 また、本講義は、会計科目の応用領域に位置づけられ、且つ経営財務の素養も学生に求める。租税負担削減行動についての包括的な研究成果を本講義の中で学ぶことにより、租税負担削減行動の実態を知ることが目的とする。また修士論文執筆について、実証的なアプローチが強く求められるようになってきている。その意味で、修士論文執筆を控えた学生諸氏に履修して、その実証研究の手続や分析手法などについても学ぶことも更なる目的となる。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：『ベーシック税務会計(個人課税編)』 著者／編者：櫻田／中島 出版社：創成社 出版年：平成 26 年	書名：『租税負担削減行動の経済的要因』 著者／編者：大沼宏 出版社：同文館出版 出版年：平成 27 年
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
評価方法及び判定基準： レポート、確認小テスト、講義中の発言を踏まえて評価する。 履修者に対しては、講義への積極的な参加と前向きな姿勢での発言を求める。この講義中の発言も評価に反映させる。よって評点は、「期末レポート」、「確認小テスト」、「講義中の発言」について、順に 80%、15%、5%のウェイトを付けて決定する。ただし、履修者の講義への貢献に応じてウェイトを変化させることもある	

(様式 1)

授業目標及び進め方：前半は主に個人企業における利益計算と所得計算を中心に据えて講義を進める。到達目標としては、全国経理教育協会が毎年実施する税務会計能力検定試験の所得税法 2 級合格程度に達することである。後半は、各講義の内容から、租税負担削減行動の実態とその状況を知ることである。同時に、実証研究の進め方について理解することが出来る。卒業論文や修士論文の執筆に必要な研究手法の基礎を身につけることが出来る。

第 1 回	テーマ：所得の意義と所得税の特色 内 容：所得税額計算の概要について理解すること 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 2 回	テーマ：納税義務と納税の方法 内 容：所得の概念について引き続き学ぶとともに、納税の義務とは何かを検討する。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 3 回	テーマ：納税地と所得の種類 内 容：納税地、H26/27 税制改正、租税条約、所得の種類について学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 4 回	テーマ：課税所得の計算 内 容：各種所得の内容について学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 5 回	テーマ：課税標準の計算 1 内 容：各種所得の課税標準について学ぶとともに、各種所得の復習も併せて行う。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 6 回	テーマ：課税標準の計算 2 内 容：各種所得の課税標準について学ぶとともに、各種所得の課税標準の計算演習も併せて行う。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 7 回	テーマ：課税標準の計算 3 内 容：課税標準の計算に関する重要なポイントである収入金額と必要経費について学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 8 回	テーマ：課税標準の計算 4 内 容：課税標準の計算に関する重要なポイントである収入金額と必要経費について引き続き学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 9 回	テーマ：損益通算、損失の繰越控除と所得控除 内 容：損益通算、損失の繰越控除および所得控除について学ぶ。 教科書／参考書：

(様式 1)

第 10 回	テーマ：税額計算と源泉徴収 内 容：税額計算の構造と税額控除について学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 11 回	テーマ：申告、納付及び還付 更正及び決定 内 容：申告、納付及び還付、更正及び決定について学ぶ。 教科書／参考書：教科書は特に指定しない。参考書・問題集として、『ベーシック税務会計(個人課税編)』を利用
第 12 回	テーマ：租税負担削減行動を取り巻く社会情勢と研究上の視角 内 容：租税負担削減行動を取り巻く社会情勢と研究上の視角について学ぶ。 教科書／参考書：『租税負担削減行動の経済的要因』
第 13 回	テーマ：租税負担削減行動の現状と実態 内 容：租税負担削減行動の現状と実態について学ぶ。 教科書／参考書：『租税負担削減行動の経済的要因』
第 14 回	テーマ：租税負担削減行動に関する諸研究 内 容：租税負担削減行動に関する諸研究について学び、現在の研究動向について学ぶ。 教科書／参考書：『租税負担削減行動の経済的要因』
第 15 回	テーマ：租税負担削減行動の尺度と分析手法 内 容：租税負担削減行動の尺度が多様であることを学び、その分析手法について考察する。 教科書／参考書：『租税負担削減行動の経済的要因』